

交通部

安全で快適な交通社会の実現に向けて



交通管制センター



自転車ナビマーク



発光鉾

交通違反の取締りと交通事故事件の捜査



交通事故事件捜査



電動キックボード交通事故防止連絡会議

横断歩行者妨害などの悪質・危険な交通違反の指導取締りや、ひき逃げ事件等、悪質・危険な交通事故事件や交通事故を偽装した保険金詐欺事件等に取り組むほか、妨害運転（いわゆる「あおり運転」）には、厳正に対処しています。

子供や高齢者を悲惨な交通事故から守るため、スクールゾーンなどの生活道路における指導取締りのほか、自転車利用者や電動キックボード等に対する指導取締りを強化し、更なる交通事故抑止に努めています。

また、駐車車両が原因となる交通事故を抑止するため、住民の要望や交通事故の実態を反映した取締り活動ガイドラインを公開し、ガイドラインに沿った放置駐車違反等の指導取締りを強化しています。



放置駐車違反の取締り



放置駐車違反の取締り

放置駐車等追放対策について、詳しくはこちらをご覧ください。



駐車取締り活動ガイドラインについて、詳しくはこちらをご覧ください。



交通環境の整備

交通管制センターでは、見学を受け付けています。（予約制）



「ゾーン30」について、詳しくはこちらをご覧ください。



生活道路における交通安全対策として、区域を定めて時速30キロの速度規制を実施する「ゾーン30」の整備等に取り組んでいるほか、横断歩行者等保護のための、信号機と連動した発光鉾の設置や自転車ナビマークなどを活用した自転車通行空間の整備を進めています。

また、信号交差点における歩行者等の安全を確保するため、歩車分離式信号の導入のほか、「ゆとりシグナル」や音響式信号機の整備を進めています。

交通管制センターでは、道路交通に関する情報の収集、提供などを行い、交通の安全と円滑化を図っています。

渋滞の原因となる違法駐車抑止対策としては、パーキング・メーターやパーキング・チケット等の整備、路上待機車両の発生源となる施設等への改善に向けた指導など、良好な駐車秩序の確立に向けた対策を行っています。